

インフェルノ

人妻不倫温泉旅行

DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止

TAISHO
ROMANESQUE



※本作品にはFGO1.5部『屍山血河舞台 下総国 英霊剣豪七番勝負』の
ネタバレを含みます。
※未成年の閲覧、無許可での複製・アップロードを禁止します



ふう
着いた着いた

マスターが
休暇を利用して
温泉旅行に行く
と言出した



護衛として
私…巴御前が
付いて行く事
になったのだ

良い
旅館だね

え…ええ…



ドキ…

ドキ…

マスターと
二人きりなんて…

けど…



二人きりになると
どうしても
思い出してしまう…

あの日々の事を…



あの快樂に
溺れた日々の事を...

そう...



義仲様への思いが
消えた訳では
なかったが

若い少年の
無尽蔵の性欲に
忘れていた女の喜びを
掘り起こされ

いつしか私自身が
彼のにめりこんでいた



初めは好意を
伝えられても
揶揄われて
いるのだと思い
あしらっていた

それでも
年下の少年からの
懸念に悪い気は
しなかったし

深い関係になるまで
時間はかからなかった

彼の欲求は
留まるところを知らず
いつのまにか
私は彼に体中を開発され

徹底的に
彼のオンナとして
調教されていた

そんな
ある日の事だった…

召喚プログラムスタート…
サーヴァント
実体化します

サーヴァント
セイバー
召喚に応じた
参上いたしました

え…?

嘘…

ホロッ

ハハハハ



念願だった
義仲様との再会…

自然と
マスターとの関係は
無くなっていた



義仲様…？

カルデアに
木曾義仲が
召喚されたのは



一抹の罪悪感…

それは義仲様とマスター
どちらに對しての
ものだったのだろうか？



あれから
三か月…

もう…
忘れようと
してたのに…

どうして
温泉旅行なんか…

すみません
予約した
藤丸ですが…

義仲様も
止めてくれれば
いいのに…

いいではないか
お前もたまには
羽を伸ばすべきだろう

ガラッ

ハッ



ほら
部屋は
こっちだつてさ



やはりマスターは
『そのつもり』
なのでしょうか…

ですが私には
義仲様がいるのです
いくらマスターが
そのつもりでも…



間違いない…
私の事を抱く気だ…



仲がよろしい
ですねえ
ご姉弟ですか？

いえ
恋人です



こちらが
お部屋となります



駄目と
分かっているのに…

彼に触れられるだけで
体が熱く…

じわ…







そ...
それは...

あれ? この感じ...
あれ以来もしかして
してない?



早速
イってるね

これ...♡
これが欲しくて...♡



ふーん...
義仲はこういう事
してくれなかったの?

っ!



ま...おおかた
『同じ主を頂く
サーヴァント同士
共に戦おう』みたいなの
色気のない
反応されたんだろ?

可愛そうに
ここはこんなに
チンポを求めて
疼いてたつてのにな

でも安心しなよ
今日は三か月分
たっぷり
抱いてあげるからね



あめあめ

ハッ

いけっ!

そろそろ
一発目行くよ

あ

あ

ッ

ドイ

久しぶりの
中出し...♥



アッ...



ここ...子袋が
喜んでる...♥

汚れたし
お風呂行こうか





以前は毎日のように
しゃぶらされていた
チンポ

啜える技も
全てマスターに
教え込まれて…

そう…
亀頭もしつかり
舐め回して…

久しぶりの
チンポ美味しい？



大好きな精液
今飲ませてあげるね

彼の感じる場所…
味…全部知っている

パンパンに膨らんで…
イキそうなんです…♥



…っ！



……っ！
んっ……

んっ

レアルッ

レアルッ



その表情
すっかりスイッチ
入っちゃったね

安心しなよ
まだ旅行は
始まったばかり
だからさ

今日は
足腰立たなくなるまで
抱くから
覚悟してね

ハッ

ハッ



そう……
そのまま
全部吸い取って……

全部飲んで……

んっ



懐かしい
精液の味……
マスターの味……♡

んっ

んっ

アッ

温泉で獣欲に火が付いた私たちは部屋に戻るなり獣のように求めあった

あッ

アッ

あッ

アッ

はッ

あッ

アッ

あッ

あッ

アッ

アッ

ただの一人の女として彼を求める

サーヴァントもカルデアも義仲様も...この場所では関係ない

あッ

アッ

アッ

アッ

アッ





この少年に刻まれた
熱い火照りが
燃え上っている

頭ではだめと
分かっているのに
体は喜んでいる



体がマスターの形を
覚えてしまっている

あ...すみません
フロントですか？

申し訳ないんですけど
食事の方
キャンセルで...

どうしようもなく
体が熱い

びしょ
びしょ





空が白み始める頃には
義仲様にすら
捧げなかつた
尻穴さえも捧げて

身も心も
完全に彼の
雌奴隷となっていた



ねえインフェルノ
ここで誓つてよ
ここに居る間だけは
完全に俺のものに
なるってさ

そしたら
イカせてあげる

か...か...♡

とも…えは
マス…ターの…
オンナです…♡

おまんこも…
お尻も…全部
捧げます…♡

だから…

下さる…♡

マスターの
オンナになる

鬼か人かすら
選ばなかつた
唯一した選択
私だつた



結局
行為が終わったのは
完全に日が昇る頃で

彼の精液を
あらゆる穴から
垂れ流しながら
気を失っていたら



翌日
旅館から出る頃には
お互いに
サーヴァントと
マスターの顔に戻っていた

ここであつた出来事は
カルデアに持ち帰らない

その方が
きつといいのだ

また来ましようね
マスター

まだまだ
この関係は
続きそうだ



もう私は
決めてしまったのだから

あとがき

どうもすいかです。

今回は人妻不倫温泉旅行本という事でしたが、いかがでしたでしょうか。初めて描く題材でしたので不安ではありましたが、個人的には楽しく描けました。AVでは結構メジャーなジャンルだと思うのですが、同人誌では全然見ませんので新鮮に感じてもらえたらと思います。

アーチャーインフェルノですが、百重塔イベントで描きたいなと感じたのですが色々後回しになってしまい、今回ようやく描けたという感じです。

今作のタイトルに人妻と入っていますが、正確には巴御前は義仲の愛妾なので人妻ではないんですが…まあ概念的なアレという事でご勘弁を。

あと勝手に義仲を登場させたり、本作の結末とかいろいろ突っ込みを受けそうなことをやっていますが、まあ広い心で受け止めてもらえればうれしいです。

次回は春のコミ1になるかと思っています。

乳上、ブーディカ、ヒロインXXのどれかを描こうかと思っています。

それではまたどこかで。

遠野すいか

奥付

誌名 インフェルノ 人妻不倫温泉旅行

発行者 遠野すいか(大正ロマネスク)

発行日 2018年 12月31日

印刷所 (有)ねこのしっぽ様

HP <http://blog.livedoor.jp/suikamj/>

Mail tsukisiro-suika@hotmail.co.jp



大正ロマネスク